科目名	病態生理学	科目分類	□基礎教育科目　■専門教育科目 □卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Pathophysiology	開講年次	■１年 □２年
ナンバリング	HB140D	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	あきただいがくいし　他	授業形態・修得単位	**講義**　・　**2**　単位
担当教員名	**秋田大学医師　他**	実施方法	□対面のみ　□遠隔のみ ■対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	○
授業のテーマ	各種疾患の病態との関連性について理解することにより、臨床における食事療法への応用につなげる基本的な知識を身につける。		
授業概要	食事療法の原則を理解するには、主な疾患の病態の概要を把握する必要があります。担当教員は全員が大学病院や民間の病院での臨床実務経験があります。本講ではその実務経験を活かして、現在食事や栄養との関連性が重要視されている疾患を取り上げ、概説します。		
到達目標	主要な疾患について、その病態と食事による予防や治療のポイントを理解する。		
授業時間外の学習	授業の前に臨床栄養学のテキストを通読し、よく理解できない事項を整理して臨むこと。栄養学、解剖生理学、生化学、臨床栄養学との関連性を意識して学習すること。		
履修条件	前期開講の解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、栄養学入門、栄養学を履修していることが望ましい。		

授業計画

第１回	テーマ：骨粗鬆症	＜本郷　道生＞
第２回	テーマ：摂食障害と栄養	＜太田　英伸＞
第３回	テーマ：　慢性腎臓病と食事療法	＜齋藤　雅也＞
第４回	テーマ：　糖尿病と食事	＜加藤　俊祐＞
第５回	テーマ：　メタボリックシンドロームと食事	＜加藤　俊祐＞
第６回	テーマ：アレルギー性鼻炎と食事	＜加谷　　悠＞
第７回	テーマ：　消化器疾患と栄養	＜白山　公幸＞
第８回	テーマ：　循環器疾患予防と栄養	＜寺田　　健＞
第９回	テーマ：　湿疹・蕁麻疹と食事	＜山川　岳洋＞
第10回	テーマ：脳血管障害と栄養	＜竹内　直行＞
第11回	テーマ：呼吸器疾患	＜佐野　正明＞
第12回	テーマ：肝疾患と栄養	＜佐藤　　亘＞
第13回	テーマ：　高血圧症	＜寺田　　健＞
第14回	テーマ：　血液疾患と食事	＜山下　鷹也＞
第15回	テーマ：　小児における栄養管理	＜菊地　和歌子＞
第16回	定期試験	

テキスト	随時プリント等を配布します。
参考文献・資料	必要に応じて適宜紹介していきます。
成績評価の方法	定期試験の結果から判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
オフィスアワー	授業終了後
受講生に望むこと・受講のルール	テキストは用いませんので、臨床栄養学、応用栄養学、生理学、生化学等の関連科目のテキストも参考にしながら、復習に力を注いで学習してください。